

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	人形劇
----	----	----	-----

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	無	応募総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃげきだんつのぶえ 有限会社劇団角笛		団体ウェブサイトURL http://www.tsunobue.co.jp/	
	代表者職・氏名 白石武士			
制作団体所在地	〒 176-0014	最寄り駅(バス停)	西武新宿線 野方駅	
	東京都練馬区豊玉南2-22-6			
電話番号	03-3994-7624			
ふりがな 公演団体名	ゆうげんがいしゃげきだんつのぶえ 有限会社劇団角笛		団体ウェブサイトURL http://www.tsunobue.co.jp/	
	代表者職・氏名 白石武士			
公演団体所在地	〒 176-0014	最寄り駅(バス停)	西武新宿線 野方駅	
	東京都練馬区豊玉南2-22-6			
制作団体 設立年月	1963年8月			
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役: 白石武士 取締役: 白石昭子 取締役: 白石奈美		舞台部8名、制作部1名、事務局1名 作家1名 加入条件/劇団の入団試験に合格した者	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	白石武士	
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	白石奈美	
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	info@tsunobue.co.jp			

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>劇団角笛は1963年8月影絵人形劇専門劇団として設立しました。以降、毎年全国各地の文化施設等において、民話や名作童話、童謡を影絵人形劇の手法により、子どもたちへ夢と感動を届ける趣旨のもと、活動を続けています。</p> <p>その間に、東京都優秀児童演劇選定優秀賞や厚生省中央児童福祉審議会特別推薦や推薦を多数受賞しました。1968年「ないた赤おに」、1976年「りゅうとびわ」、1978年「こぶたのマーチ」、1983年「伝兵衛と鹿」、1992年「ごんぎつね」、1995年「やさしいライオン」、1997年『花さき山』等です。また、海外12カ国での公演実績もあります。1982年、1985年フランス公演(民主音楽協会派遣)、1993年香港公演(角笛を観る会実行委員会主催)、1995年インドシナ5カ国公演(国際交流基金主催)、2001年韓国公演(LGアートセンター招聘)、2002年中近東2カ国公演(国際交流基金派遣)、2012年アメリカ公演(桜寄贈100周年記念事業)、2016年シンガポール公演(国交50周年事業)です。</p> <p>公演活動の他、テレビ番組制作へ影絵協力もしています。2018年NHK BS4K「映像詩 宮沢賢治 銀河への旅～慟哭の愛と祈り～」、2021年NHK BS4K「Black Samurai 信長に仕えたアフリカン侍・弥助」、2023年NHK BSプレミアム「業の花びら ～宮澤賢治 父と子の秘史～」等です。</p>		
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>昭和38年より小学校公演実績あり 累計 約350公演 昭和38年より中学校公演実績あり 累計 約30公演 <直近> ※文化庁事業(AFF事業、アートキャラバン事業、学校巡回事業)を除く公演実績 令和3年度「ももたろう」全国15カ所22公演 令和4年度「こぶたのマーチ」全国35カ所58公演 令和5年度「花さき山」全国47カ所68公演 令和6年度「すてきな3にんぐみ」:全国73カ所85公演予定 (全国の公立文化施設での依頼公演及び自主公演等)</p>		
<p>特別支援学校等における 公演実績</p>	<p><養護学校および聾学校、支援学校公演実績>※文化庁事業の公演実績を含む 昭和56年 神奈川県立瀬谷養護学校 昭和58年 東京都立しいの木養護学校(千葉県市原市) 平成元年 東京都立八王子東養護学校 平成5年 東京都立大泉養護学校 平成7年 埼玉県上尾養護学校 平成9年 山梨県立あけぼの養護学校 平成12年 長野県立諏訪養護学校、群馬県立聾学校 平成13年 高岡市立こまどり養護学校 平成14年 茨城県立水戸聾学校、茨城県立霞ヶ浦聾学校 平成15年 山梨県立聾学校 令和2年 北海道鷹栖養護学校、墨田区立特別支援学校 令和5年 秋田きらり支援学校 令和6年 大阪府立刀根山支援学校(予定)</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/o7wfb_Gx_G0</p>	
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	
		<p>PW:</p>	

別添	なし			
公演・ワークショップの内容		【公演団体名 有限会社劇団角笛】		
対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	-
企画名	光と影で織りなす角笛シルエット劇場「ごんぎつね」			
企画のねらい	本企画のねらいは、本格的な影絵人形劇を鑑賞する機会により、児童の豊かな感性や情操を育むことです。光と影のしくみを知ること興味関心を引き出し、美しく幻想的な作品を鑑賞することで児童の想像力や思考力を養います。特に「ごんぎつね」ではおもいやりの大切さを伝えます。また、ワークショップの表現活動では児童の主体性を育み、他児童と協力して対話的な学びを深めます。			
演目概要・演目選択理由	<p>本企画の演目は3部構成です。</p> <p>1. 影絵人形劇「ごんぎつね」(約22分) 長年小学校国語の教科書に取り上げられている「ごんぎつね」を、透過率の高い大型リアスクリーンを用いた色鮮やかな影絵人形劇で上演します。幻想的で美しい影絵人形劇により、「ごんぎつね」の複雑な心情が描かれています。児童は登場人物の感情を疑似体験しながら、自分のこととして他者との関係を考えるきっかけとなる演目です。</p> <p>2. 「影とあそぼう」(約25分) 光の三原色や当劇団オリジナルの影絵人形を視覚的にわかりやすく解説します。手影絵や影絵クイズもあるので、児童は楽しんで鑑賞できます。児童の探求心を刺激し、思考力や想像力の成長が促される演目です。</p> <p>3. 「つのぶえのうた」(約17分) 軽快な音楽と影絵が融合した影絵のファンタジー作品です。躍動感あふれる音楽にのせた影絵は次々と変化し、「驚き」や「不思議」が掻き立てられ、想像力が高まります。また、影絵を鑑賞しながら、舞台裏のしくみが垣間見える演出により、生の舞台の息づかいや臨場感が伝わる演目です。</p>			
児童・生徒の参加又は体験の形態	<p>【参加の形態】ワークショップ参加児童が創作した影絵「みんなのごんぎつね」を本公演内で発表します。1つ目の演目「ごんぎつね」のスピノフ的な作品であり、鑑賞する児童は親しみをもって他者の表現を受け止め、発表児童と鑑賞児童がともに自由に表現する楽しさを実感できます。</p> <p>【体験の形態】実施校の希望があれば、本公演後の舞台裏見学が可能です。</p>			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	35名	
		鑑賞人数目安	500名	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>【プログラム構成】</p> <p>1. 「ごんぎつね」(約22分) 原作/新美南吉 脚本/山上路夫 音楽/渡辺岳夫 演出/角笛文芸部 ※影絵「みんなのごんぎつね」(約15分) ワorkshop参加児童による発表(休憩) (約10分)</p> <p>2. 「影とあそぼう」(約25分) 演出・構成/白石武士</p> <p>3. 「つのぶえのうた」(約17分) 演出・構成/白石武士</p> <p style="text-align: right;">公演時間 約 90 分</p>			
出演者	<p><司会兼舞台監督> 矢田秀明 <照明兼人形操演> 磯野航 <音響兼大道具> 藤井昭夫 <大道具兼人形操演> 下井理裕、竹内淳人 <照明補佐> 山中勉 <人形操演> 多田京音、白石古都</p>			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p><構成演出・企画制作> 白石武士 1981年3月 法政大学工学部機械工学科卒業 1983年5月 劇団角笛入団 1995年4月 劇団角笛代表取締役就任</p> <p><舞台制作・照明> 山中勉 1976年3月 武蔵野美術大学造形学部基礎デザイン学科卒業 1976年5月 劇団角笛入団(1983年4月舞台監督就任/2016年4月舞台制作部配属)</p> <p><舞台監督・司会> 矢田秀明 1984年3月 東洋大学文学部中国哲学文学科卒業 1991年4月 劇団ひまわり公演部入団 1995年5月 演劇集団遊玄社 創立メンバーとして参加 2023年4月 劇団角笛入団 舞台監督・司会就任</p>			

本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む	出演者: 8 名 スタッフ: 1 名 合 計: 9 名	運搬	積載量: 4 t 車 長: 6.93 m 台 数: 1 台																						
本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	<table border="1"> <tr> <td>前日仕込み</td> <td>無</td> <td colspan="4">前日仕込み所要時間</td> <td>—</td> <td>時間程度</td> </tr> <tr> <td>到着</td> <td>仕込み</td> <td>上演</td> <td>内休憩</td> <td>撤去</td> <td>退出</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>8時</td> <td>8時～10時</td> <td>13時～14時30分</td> <td>10分</td> <td>14時30分～16時</td> <td>16時30分</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。</p>	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間				—	時間程度	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出			8時	8時～10時	13時～14時30分	10分	14時30分～16時	16時30分		
前日仕込み	無	前日仕込み所要時間				—	時間程度																		
到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出																				
8時	8時～10時	13時～14時30分	10分	14時30分～16時	16時30分																				
本公演 実施可能日数目安 <small>※実施可能時期について は、採択決定後に確認し ます。(大幅な変更は認め られません)</small>	<table border="1"> <tr> <td>6月</td> <td>7月</td> <td>8月</td> <td>9月</td> </tr> <tr> <td>5日</td> <td>10日</td> <td>10日</td> <td>10日</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>11月</td> <td>12月</td> <td>1月</td> </tr> <tr> <td>10日</td> <td>0日</td> <td>10日</td> <td>5日</td> </tr> <tr> <td colspan="2">※平日の実施可能日数目安をご記載ください。</td> <td>計</td> <td>60日</td> </tr> </table>	6月	7月	8月	9月	5日	10日	10日	10日	10月	11月	12月	1月	10日	0日	10日	5日	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。		計	60日				
6月	7月	8月	9月																						
5日	10日	10日	10日																						
10月	11月	12月	1月																						
10日	0日	10日	5日																						
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。		計	60日																						
公演に係るビジュアル イメージ (舞台の規模や演出が わかる写真) <small>※採択決定後、図 面等の提出を願 います。</small>	<p>影絵人形劇「ごんぎつね」</p>     <p>(図1) 体育館にスクリーンを設置した状態 体育館のフロアに縦4.5m横7.8mのスクリーンを設置します。 電源や入口などの位置関係により、スクリーンの設置位置は変わる場合があります。</p> <p>(図2) 舞台裏の様子 スクリーン裏に複数の照明機材、人形、セット、音響機材などを設置します。</p> <p>(図3) ごんぎつね上演中の様子 公演中は遮光し体育館の照明を落として上演します。 リアスクリーンを使用している為、舞台面以外が多少明るくても上演可能です。</p>																								
著作権、上演権利等 の 許諾状況	<table border="1"> <tr> <td>各種上演権、使用権等の許諾手続きの 要否</td> <td>該当あり</td> <td>該当コンテンツ名</td> <td>つのぶえのうた</td> </tr> <tr> <td>該当事項がある 場合</td> <td>権利者名 日本音楽著作権協会</td> <td>許諾確認状況</td> <td>採択後手続き予定</td> </tr> </table>	各種上演権、使用権等の許諾手続きの 要否	該当あり	該当コンテンツ名	つのぶえのうた	該当事項がある 場合	権利者名 日本音楽著作権協会	許諾確認状況	採択後手続き予定																
各種上演権、使用権等の許諾手続きの 要否	該当あり	該当コンテンツ名	つのぶえのうた																						
該当事項がある 場合	権利者名 日本音楽著作権協会	許諾確認状況	採択後手続き予定																						

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	あり
----	----

【公演団体名 有限会社劇団角笛 】

<p>ワークショップのねらい</p>	<p>本ワークショップのねらいは、児童の主体性を育むことと対話的な学びを深めることです。影絵表現には人前で表現することが苦手な人でも自己表現しやすい特徴があります。その特徴を活かし、すべての児童が自分の影や人形の影を確認しながら身体を動かし、自らのイメージを影で表現します。そして、他の児童の影表現に共感しながら、創作します。</p>		
<p>児童・生徒の参加可能人数</p>	<p>ワークショップ</p>	<p>参加人数目安</p>	<p>35名(1クラス程度)</p>
<p>ワークショップ実施形態及び内容</p>	<p>※1時限目の影絵遊び、2時限目の創作活動を通して、主体的に表現する楽しさを味わい、他者とコミュニケーションを取りながら1つのものを創作し、鑑賞し合うワークショップです。 1時限目(動機づけ) <※体育館の設営イメージは別添(図1) > 1. 導入:手影絵体験(約25分) ①劇団スタッフによる実演・解説。 ②児童が手影絵をスクリーンに映します。(大きなメインスクリーンで、円滑に行います) ③②と同時に、他児童の手影絵を鑑賞し合います。 2. シルエット灯台:影絵遊び(約20分) <※シルエット灯台のイメージ図は別添(図2) > ①劇団スタッフが照明を使って、灯台のように回転しながら児童を照らします。 ②照らされた児童は、劇団スタッフの出題に応じて、即興で身体を使って影で表現します。 ③段階的に人数を増やし、複数人でひとつの影を映し、表現します。 ***休憩時間(学校の休憩時間に準ずる)*** 2時限目(創作) 3. 影絵「みんなのごんぎつね」創作(約25分) ①創作場面、配役(人形、身体表現)を決めます。 ※創作場面のグループは事前に決めておきます。 ※人形はこちらで用意したものを使用します。 ②担当する役の動きやセリフを考えます。 ③他の児童と話し合いながら、ひとつの影絵を映しだします。 ④発表ができるように、グループ内で練習をします。 4. 発表(約10分) ①グループ毎に影絵「みんなのごんぎつね」を発表します。 ②それぞれのグループの影絵「みんなのごんぎつね」を鑑賞します。 5. まとめ:質疑応答(約10分) ①児童がワークショップ全体を通して感じたことや質問・疑問を発表します。 ②本公演の鑑賞効果が高まるよう、児童の質問・疑問にスタッフが応じます。</p>		
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p><ワークショップ実演例></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>1. 手影絵体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2. 影絵劇の創作活動</p> </div> </div>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先

No.3

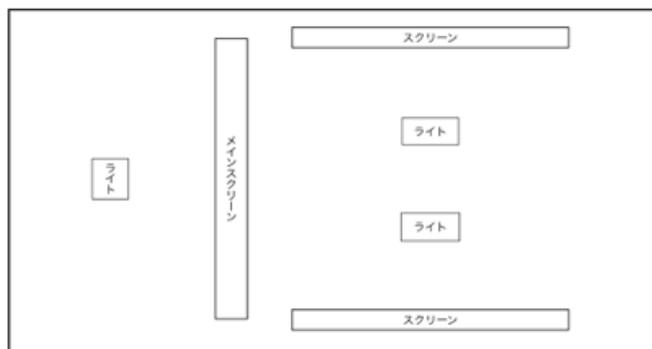
【公演団体名

有限会社劇団角笛

】

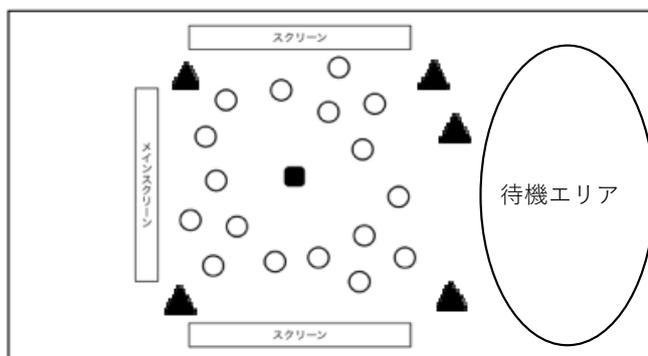
項目内容

※ 体育館での設営イメージ(図 1)



- ・ワークショップでは、体育館に3カ所スクリーンを設営します。
 - ・全体説明、手影絵体験や影絵発表の際はメインスクリーンのみを使用します。
 - ・影絵創作ではグループに分かれ3カ所のスクリーンを使用します。
- その際、移動可能な照明を図1の通り配置し、安全に留意し活動します。

※シルエット灯台の活動イメージ(図 2)



■ ライトを持ったスタッフ ○ 児童 ▲ 劇団スタッフ

シルエット灯台

- ・3つのスクリーンの中央にライトを持った劇団スタッフを配置します。
- ・ライトの周りを児童が動きます。(走らないよう声をかけます)
- ・劇団スタッフを児童の周囲に配置し、安全に留意します。
- ・参加児童が大人数の場合は待機エリアに控え複数回に分けて体験します。

別添	なし
本事業への応募理由	【公演団体名 有限会社劇団角笛】
<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>【本事業を通じて実現したいこと】 舞台芸術に触れる機会の少ない子どもたちに、色鮮やかな大型影絵人形劇を鑑賞する機会を提供し、影絵劇の普及を図ります。透過率の高いリアスクリーンを用いた影絵人形劇は演劇の分野でも鑑賞する場が少ないことから、初めての鑑賞体験となる児童が多いと考え、わかりやすい身近な光と影の自然事象を引用しながら、児童の興味や関心を引き出します。ワークショップでは児童が身体で表現する楽しさを味わい、協力してひとつの作品を創作します。その中で、児童が自ら影絵人形劇のみどころを見つけ、鑑賞力が高まるよう、対話します。また、児童の気づきや疑問を受け止め、探究心に寄り添うことで、想像力や思考力の成長に繋がります。</p> <p>舞台芸術鑑賞には、児童が様々な感情を疑似体験し、情動機能を活性化することにより、感性や情操を養う教育的効果があります。そして、児童はストーリーの中に自分や他者との関係を投影させ、人とのかかわり方や自分の意見を考えます。児童の共感する力や社会性が育まれるよう、質の高い舞台づくりと芝居に真摯に取り組みます。</p> <p>本事業をきっかけとして、感想を話し合ったり、公演内容を他の人に話したりして、児童のコミュニケーションが促進されることを目指します。</p> <p>【上記の実現に向けた実施の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演目の「つのぶえのうた」では、スクリーン下の蹴込み幕を外して上演することで舞台裏が垣間見える工夫をします。鑑賞しながら効果的に影絵のしきみを感じることができます。 ・全校児童や教職員が本事業に興味関心をもつ工夫として、資料「影絵人形劇しんぶん」を本公演前に実施校へ提供します。 <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>【学校との連絡調整について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓口となる担当者の設置:実施校が決まった段階から事業終了に至るまで、担当者が実施校の要望や質問、確認事項を包括的にまとめ、共有します。 ・資料提供:実施校がイメージしやすい資料を提供し、円滑な情報共有に役立てます。 <p>【対象児童に応じた工夫や留意点について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施校の要望(参加学年や児童人数、クラスの雰囲気)に応じた対応ができるよう、事前にワークショップや本公演の際に、特別に配慮が必要な点を確認し、準備をします。 ・本公演内で影絵「みんなのごんぎつね」を発表する児童の導線や参加のタイミングは事前に確認し、休み時間中にリハーサルを行うことで、児童がのびのびと発表できるようサポートします。 ・劇団スタッフは影絵人形劇のスキルだけではなく、演劇教育などを学んでいます。 <p>【本公演等実施後の児童への継続的な学びについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が日常の暮らしの中で視野を広げ、光と影の魅力を再発見できるよう声かけをします。 ・本事業後もメールやSNS等を通じて、児童や教師の質問に応じる環境を整えることで、継続的な学びを後押しします。